

石狩の鳥・花を観察!

Observe birds & flowers in Ishikari

石狩は緑の豊富な公園や、川や海などの水辺も豊富なので、鳥や植物などがたくさん生息しています。季節によって出会えるものが移り変わるので何度来ても楽しめます。

はまなすの丘公園

石狩川の河口に広がる、自然海岸草原です。ハマナスを始め、美しく珍しい季節の花々を見ることができます。また草原性の渡り鳥が繁殖子育てをする場所になっているので、本州ではなかなか出会えないような鳥達を近くで見ることができます。
※管理棟ビジターセンターに詳しい説明がありますので、ぜひ読んでみてください。

【はまなすの丘公園】
管理棟ビジターセンター
☎0133-62-3450(4/29~11/3)
(一社)石狩観光協会
☎0133-62-4611(通年)

オジロワシ

北海道で絶滅危惧種に指定されている国の天然記念物。青空に真っ白な尾羽を広げ悠々と旋回する姿はとても美しいです。

出会い度: 📷📷

通年



鳥の写真提供: Toru hakuata

5月



イノスミレ

5月頃に咲く、紫色のスミレです。砂地に根をはる日本固有種で絶滅危惧種。またはまなすの丘公園が生育の北限となります。



3-9月

ヒバリ

空高く飛びながら大きな声でさえずるともおしゃべりな鳥。雄の頭頂部の羽がモヒカンのようにりりしいです。

出会い度: 📷📷📷📷

5月



ハマハタザオ

海岸の砂地に咲く花で、旗竿のように茎を真っ直ぐ伸ばします。白い小さな花がひしめき合って咲きます。



4-9月

ノビタキ

草原の小鳥の代表格。雄は頭も翼の上部も真っ黒、胸元が白地に赤というカラーリングで目につきやすいので、比較的につけやすいです。

出会い度: 📷📷📷📷

5-6月



ハマエンドウ

海岸の砂地に咲く青紫色の花です。スイートピーに似たお花はかわいらしいので観賞用に栽培もされます。



4-9月

オオジュリン

真っ黒な頭部と喉元、夏毛の雄はいかついですが、冬毛になると落ち着いたベージュになり、同じ鳥とは思えないほどの変身をします。

出会い度: 📷📷📷



5-8月

ココシキリ

スズメより小さな身体ですが、大きく口を開けて、一日中、夜もさえずり続ける歌い手さんです。

出会い度: 📷📷📷

6-10月



ハマナス

石狩市の、そして北海道の花です。バラ科の植物なので花のかわいらしさもさることながら、良い香りがあたり一面に漂います。実のローズヒップは食用にも。



5-9月

ホオアカ

ゴマ塩灰色の頭部に、名前の通りのレンガ色のほっぺがよく目立ちます。愛嬌がありますよね。

出会い度: 📷📷📷📷



5-9月

ノゴマ

雄はカーニバルに参加しているような真っ黒のマスクをつけて、真っ赤な喉元は蝶ネクタイ、おしゃれさんです。

出会い度: 📷📷📷📷



通年

シジュウカラ

黒い頭に黒くて長いネクタイ。しかしほっぺが真っ白という、かっこいいというにはちょっとおしい!

出会い度: 📷📷

6月下旬~7月



ハマヒルガオ

6月下旬~7月に淡いピンクの花を咲かせます。『はま』の名の通り、海岸の砂浜に自生します。

6月



エゾスカシユリ

6月頃に咲くオレンジ色の花。ユリ科の花では珍しく、空を仰ぐように上向きに花を咲かせるのが特徴です。

7-8月



エゾカワラナデシコ

中部以北から北海道にかけて見られます。花弁は扇のような形状で、先端部が細裂しているため風にふわりとゆれる可憐な淡いピンクの花です。



通年

コウライキジ

草原を歩き回る鳥。その美しい色合いはとも目立ちます。真っ白なネクレスがキジとの違い。道路をひよいと横切ることもあるので、運転には注意を!

出会い度: 📷📷



7-10月

ホウロクシギ

日本で見られるシギの仲間では最大。日本海側の砂浜でよくみられるのは、好物の甲殻類を食べるため。グルメな鳥です。

出会い度: 📷📷



通年

ホシガラス

標高の高い所では見ることができませんが、平地で見かけるのはとてもレア。運がよければはまなすの丘公園にも。

出会い度: 📷

